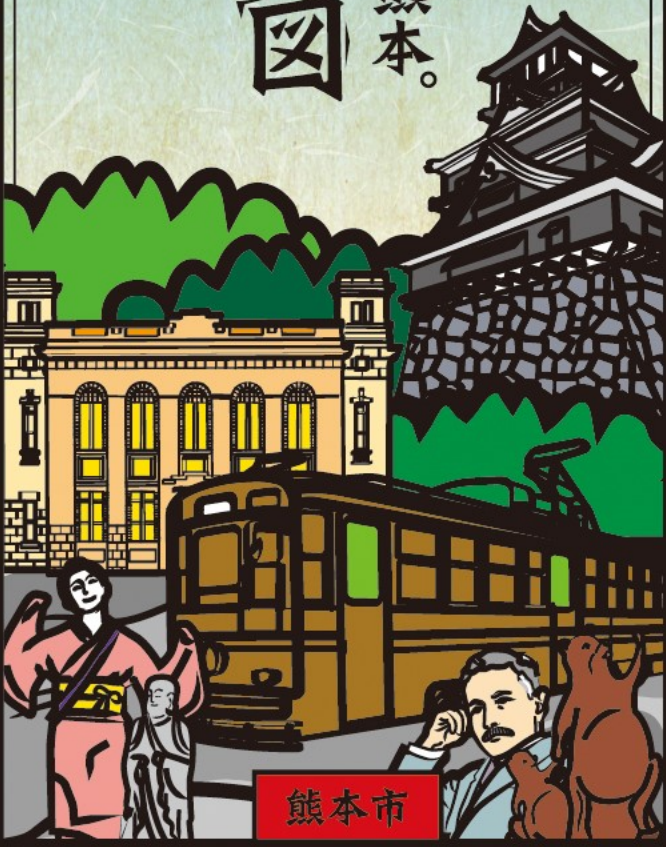
市電で巡る、旧き良き熊本。

城下町散策町図



歴史と人情が、
そのまちの魅力。

市電で巡る城下町散策

熊本城の眼下に広がる城下町には、
今でも江戸時代から
そして、その昔から脈々と受け継がれてきた
風情豊かなまち並みがあります。

近代的な建物が建ち並ぶなか、
ひっそりと、そして凛としたたたずまいの
町屋、寺社、石塀、橋、自然、
そしてその間をゆったりと走る路面電車。
そのまちの歴史を雄弁に語りかけてくれるような
風景との出会いは、
新しい発見と驚きに満ち溢れています。
いつもより歩みの速度をゆるめて、時には足をとめて、
市電で巡る城下町熊本への小旅行へ
でかけてみませんか。

熊本城下町案内図

東

南

北

西

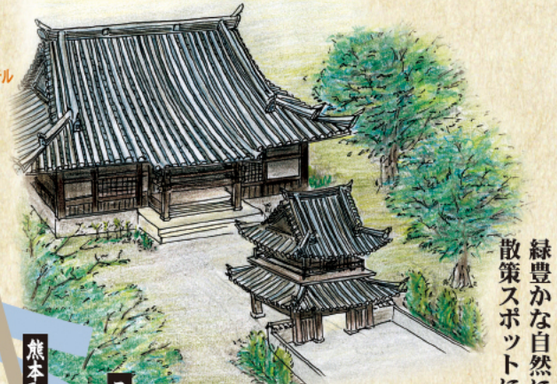
◆古町

江戸時代に町人の居住地として栄えた古町。今でも当時のまま残る町割りの中に、寺院や古い趣のある町屋が数多く見られます。見所は、坪井川沿いにある唐人町通りのまちなみです。

坪井川にかかる石橋「明十橋」と洋館「ピーエスオランジュリ」は、古町の顔とも言える眺めです。

◆自然散策

城下町のすぐ外に位置していた横手周辺には、歴史を感じさせる寺院などが建ち並び緑豊かな自然に囲まれた絶好の散策スポットになっています。



特徴ある山門や本堂を見てまわるのも、この地域ならではの楽しみです。

京町の坂のひとつ「観音坂」をくだると、その近くには文豪夏目漱石の旧居があります。

◆京町

市内を一望できる高台にある京町は、歴史の古いまち。夏目漱石が眺めを賞した新坂をはじめとして、京町台地を東西に結ぶ坂が数多く点在し、その名前と由来から往時の人々の生活を想像することができます。

電車通り沿いには、長い歴史を感じる「吉田松花堂」。市電の車窓からの眺めも抜群です。

◆新町

加藤清正入国時に多くの職人たちが移り住んだと言われる新町。城下町を代表する町屋、地元の人々によって大切に守られてきた通りやお地蔵さまなど、今でも残る昔の面影が町の歴史と伝統を伝えています。

京町 詳細MAP P.21-22

古町 詳細MAP P.7-8

新町 詳細MAP P.15-16

自然散策 詳細MAP P.27-28

上林町
熊本ホテルキャッスル前
城東町
通町筋
安政町
坪井川
壺川
内坪井町
県立美術館分館横
千葉城町
KKRホテル熊本前
熊本城市役所前
市役所前
手取本町
花畑町
辛島町
白川
本丸
京町本丁
京町
熊本城二の丸駐車場
桜町バスターミナル
桜町
桜の馬場城彩苑
二の丸
辛島町
慶徳校前
西辛島町
古川町
河原町
船場町下
洗馬橋
紺屋町
鍛冶屋町
商工会議所前
ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ
中唐人町
呉服町
米屋町
魚屋町
細工町
祇園橋
祇園橋
博物館旧細川刑部邸前
子ども文化会館前
古城町
古京町
上熊本
県立体育館前
本妙寺入口
杉塘
JR上熊本駅
段山本町
段山町
藤崎台下
宮内
蔚山町
蔚山町
新町
新町
新町
明八橋
北岡自然公園（細川家霊廟）
熊本駅前
二本木口
田崎橋
JR熊本駅
熊本駅前

A 系統　熊本駅（田崎橋）～熊本城・市役所前

B 系統　上熊本～熊本城・市役所前

熊本城周遊バス運行ルート

古町

市電で巡る、熊本城下町。古町（まち）散策町図

モデルコース

◎所要時間 約40分

電停 祇園橋 → ❶白梅天満宮 Shiraumetenmangu → ❷阿弥陀寺 Amidaji → ❸源ZO-NE GenZO-NE → ❹清永本店 Kiyonagahonten → ❺明八橋 Meihachibashi → ❻西村邸 Nishimuratei → ❼武蔵屋 Musashiya → ❽塩胡椒／ルーツ・ピュアリィ Shiokosho/Root's Purity → ❾ピーエスオランジュリ PS Orangerie → ❿明十橋 Meijubashi → 電停 慶徳校前

古町 ふるまち

卸問屋が軒を連ねる、戦前の経済の中心地。

加藤清正入国時に、熊本城下南部のこの地域は、町人の居住域として栄えていました。当時、肥後国府のあった二本木付近（熊本駅の南東）から、町人を移り住まわせ、寺も移転したことからこの辺り一帯は、古町と呼ばれています。明治以降から戦前まで、土蔵づくりの卸問屋が軒を連ねる経済の中心地として賑わっていた名残が、今でも見ることができます。

◆民家に囲まれるように点在する寺院。

古町は、碁盤の目のように割った町割りが特徴。その町区の真ん中には民家に囲まれるように多くの寺院があります。これは、敵の攻撃に備え、寺に武装した兵士を隠すための城下町特有の配置であるとか。また、火災による延焼を防ぐ役割もあったようです。

◆民謡「おてもやん」は、古町の人？

熊本でお馴染みの民謡「おてもやん」。この「おてもやん」の生みの親が古町に住んでいたという説があります。その人の名は、永田いね。小さい頃から芸事に長け、殿様の所望で舞いや歌を披露し、女芝居一座を組んで全国を巡業したこともあるとか。

「五福百年」より

【歴史的風致形成建造物に指定】

① 白梅天満宮 Shiraumeetenmangu

毎年11月15日に北岡神社の神宮を招いて祭礼が行われる。前夜祭には、町内にある「白梅青年会」の手によって、風神大根と呼ばれるフロフキ大根が作られ、町内にふるまわれます。この風神大根は、多量の唐辛子といっしょに煮込んだもので、二切れと食べられないほどの辛さ。これを食べることで風邪をひかないという伝統の味です。

民家に挟まれた幅1メートルほどの細い通路を抜けると、まるで異空間のような場所に天満宮があります。小さな社殿は西南の役の際に焼失して再建されたもの。今でも風神大根や祭礼など、地域住民によって行われています。

民家の間にある狭い入口。見落とさないようにご注意を。

② 阿弥陀寺 Amidaji

奈良時代に万日山にあったものを、清正公が白川べりに移転させ、その後現在の細工町に再移転したという古い寺。熊本城の百間石垣を手がけたと言われる築城の名人であった飯田覚兵衛の墓があります。古町には、他にも多くのお寺がありますが、特に阿弥陀寺は大屋根の瓦と曲線が壮大で、迫力と優美さをあわせもったお寺の一つです。

本堂に向かう通路を入ると、迫力にある仁王像が迎えてくれます。

【歴史的風致形成建造物に指定】

3 源 ZO-NE
GenZO-NE

昔ながらの雰囲気を残す通りにある町屋づくり。1階の土間部分には、町の名物が楽しめる居酒屋と手づくりキャンドルを扱うショップがあります。

問）☎096-352-5187　休）不定休

【歴史的風致形成建造物に指定】

4 清永本店
Kiyonagahonten

清永家は宝暦年間（1751～1764）から続く商家であり、建物が建てられたころは荒物商でした。主屋は間口約6間、奥行き14間木造2階建ての切妻造で、中庭が設けられ、さらに奥に離れの座敷がみられ、この地区では最も大きな町屋のひとつです。

【歴史的風致形成建造物に指定】

5 明八橋
Meihachibashi

通潤橋や日本橋を手がけた種山石工橋本勘五郎が、熊本で最初に手がけた眼鏡橋。昔は町屋と町屋をつなぐ板橋で、新町側に御門が設けられていました。

石橋のアーチが扁平なのが特徴で、
扁平なアーチでは日本一と言われています。

【国登録文化財に登録】
【景観重要建造物に指定】
【歴史的風致形成建造物に指定】

6 西村邸（創空間ききや）
Nishimuratei

道路に面している部分は倉庫、坪井川に面しているところに住居と船着き場があるなんとも不思議な建物。もともと油商だったため、敷地の東西に煉瓦造りの防火壁が設けられています。

東側の煉瓦は、2階建ての外観にあわせたユニークな形をしています。
問・休）SNSをご確認ください

7 武蔵屋
Musashiya

明治から履物屋を営む「武蔵屋」。手づくりの下駄や草履などが売られています。町屋づくりの店構えは、商人の町として栄えた往時の面影を残しています。

問）☎096-352-6497　休）日祝日

【歴史的風致形成建造物に指定】【景観形成建造物に指定】

8 塩胡椒／ルーツ ピュアリィ
Shiokosho / Root's Purely

軒の高さや窓に配された格子が町並みに美しく調和しています。

問）塩胡椒（写真右）/☎096-322-8487　休）月曜
ルーツ ピュアリィ（写真左）/☎096-323-1551　休）水曜

道路側から見ると2階建ての伝統的な町屋づくりですが、実際中に入ると地下1階、1階、2階と、3階建てになっている不思議な空間。坪井川に面している地下1階には、石造りの壁が施され、静かな落ち着いたスペース。フレンチレストランやオーガニックショッピングモールが営業しています。散策途中に、お食事、休憩、ショッピングを楽しんではいかがでしょうか。

ルーツ ピュアリィ

【国登録文化財に登録】【歴史的風致形成建造物に指定】【景観形成建造物に指定】

9 ピーエスオランジュリ
PS Orangerie

問）☎096-356-2201

大正8年に建てられた、初期の鉄筋コンクリート造りの建物。形、色とも美しく調和のとれた建物で、唐人町の顔となっています。現在は、空調器メーカーのオフィスとショールームになっています。

建物名のオランジュリとは、オレンジが生き生きと育つような快適な室内気候という意味で名付けられました。室内は白で統一されており、地中海の建物を思わせるデザインです。

10 明十橋（めいじゅうばし）
Meijubashi

明八橋と同じく、橋本勘五郎作の石橋。周囲の建物町並みとの調和がとれた優しい色合いの橋です。

重量に耐えるように頑丈に設計されているため、現在でも車が通っています。

【歴史的風致形成建造物に指定】

早川倉庫（はやかわそうこ）

問）☎096-352-0085

熊本大地震や第二次世界大戦を免れ現存。明治10年に旧岡崎酒店酒類醸造場として建てられた大スパンが特徴の建物です。現在は、倉庫業を営む店舗となっています。

【歴史的風致形成建造物に指定】

料理谷邸（りょうりやてい）（商工クラブ）（しょうこう）

この建物は代々熊本藩の料理係として仕えた家系である料理谷家が、明治23年に料理屋として建てたといわれています。木造2階建の切妻造であり、手すり格子や出格子が残り、当時の雰囲気を残しています。

川上酒店（かわかみさけてん）

問）☎096-326-1568　休）不定休

築百年を経過する職住一体型の町屋建築を改修した酒屋です。間口3間、奥行き5間の店舗は、町屋独自の風情を継承しつつ、現代との調和が図られています。

河原町界隈（かわらまちかいわい）

戦後の延寿寺境内に密集したヤミ市がはじまりで、多くの衣料問屋が軒を連ねた地域。現在では、昭和の町並みを生かして、起業家を目指す若者が集まる場所に。手づくりの看板やモダンアートなど、若者の感性によって少しずつ町が変わろうとしています。

新町

市電で巡る、熊本城下町。新町散策町図

モデルコース

◎所要時間 約50分

電停 洗馬橋 → ①文林堂 Bunrindo → ②冨重写真館 Tomishigeshashinkan → ③明八地蔵 Meihachijizo → ④長崎次郎書店 Nagasakijiroshoten → ⑤高麗門跡 Koraimonato → ⑥正妙寺通り Shomyojitori → ⑦新町恵比寿神社 Shinmachiebisujinja → ⑧吉田松花堂 Yoshidashokado → ⑨兵庫屋 Hyogoya → 電停 蔚山町 → 札の辻(清爽園) Fudanotsuji(Seisoen) → 熊本城 Kumamotojo

新町

新町（しんまち）

腕自慢の職人と商人が集った城下町。

加藤清正がつくった町人町。
地元熊本だけではなく、大阪や名古屋から
清正を慕ってやってきた商人や職人を
定住させたと言われています。
明治になってからは、郵便役所が置かれ、
写真屋や活版印刷屋など新しい商売が
ここ新町からはじまっています。
この地域は空襲による被害が少なかったことから、
昔ながらの町屋のたたずまいが残っています。

◆交通の起点であった新町。

商工の町として栄えた新町は、交通、通信の中心的場所でした。肥後の四街道（豊前、豊後、薩摩、日向）は、札の辻（清爽園）を起点として、何里の距離があるのか測られていたとか。一里木、二里木という地名は、この場所からの距離を示した名残なのです。

◆肥後手まり唄「あんたがたどこさ」の狸。

♪あんたがたどこさ 肥後さ 肥後どこさ♪のフレーズで親しまれている肥後手まり唄。この唄の中にある「せんば山」は熊本城から船場橋、明十橋あたりまでの川沿いにあった土手のこと。この地域には、「狸がいた！」という話が数え切れないほど残っているとか。

❶ 文林堂（ぶんりんどう） Bunrindo

明治から営業をする老舗の文具店。それ以前は、細川藩御用の染め物職人であったとか。店の電車通りに面した部分は昔の建物から型をとって忠実に再現したもので、腰折れ屋根と壁面のデザインがなんとも美しい。

問）☎096-355-0274 休）日祝日

❷ 冨重写真館（とみしげしゃしんかん） Tomishigeshashinkan

【国登録文化財に登録】
【歴史的風致形成建造物に指定】
【景観形成建造物に指定】

明治から現在まで、熊本の変遷を記録してきた写真館。創業当時からの貴重な写真や機材が今でも残っています。店先には、日露戦争の名将と言われる、乃木希典の写真が飾られています。

❸ 明八地蔵（めいはちじぞう） Meihachijizo

新町には、町内の人の手により今でも大切に守られているお地蔵さんが町角にたくさんあります。毎年7月24日には、地蔵まつりが開かれています。

電停（でんてい）／洗馬橋（せんばばし）

名前の由来は、この場所に江戸時代坪井川水運の船着き場があったことから。電停は「洗馬橋」、近くにある橋は「船場橋」と表記します。狸の銅像が目印。

4 長崎次郎書店 Nagasakijiroshoten

【国登録文化財に登録】【歴史的風致形成建造物に指定】【景観形成建造物に指定】

江戸時代は、細川藩御用指物師を経て道具屋。明治7年に書店として創業。明治、大正の文人にも親しまれ、森鴎外も小倉の軍医だった頃に視察の際に立ち寄ったといわれています。建物正面にある木看板は、江戸中期の書家、北嶋雪山によるものです。

問）☎096-326-4410
休）元日・藤崎宮例大祭当日

和洋中を折衷したような現在の建物は、大正13年に建てられました。昭和50年に火災で半焼し、老朽化が激しかったため、平成2年に補強、改装されています。

5 高麗門跡 Koraimonato

6 正妙寺通り Shomyojitori

加藤清正が花岡山方面からの敵を防ぐためにつくった門のひとつ。朝鮮の高麗門にならって熊本城の通用門として建てられ、現在は石碑が建っています。その近くにある正妙寺通りは、アオギリの並木が続き、散策するのにとても気持ちいい通りです。

7 新町恵比寿神社 Shinmachiebisujinja

民家とマンションの間にひっそりと建っている恵比寿神社。細い参道の横には、休憩できるベンチがあります。

8 吉田松花堂 Yoshidashokado

【歴史的風致形成建造物に指定】【景観形成建造物に指定】

江戸時代の町医者で、整腸の妙薬毒消丸で知られる薬問屋。道路に面した西側は町屋、東側は武家屋敷の特徴があり、城下町を代表する建物として有名です。

9 兵庫屋 Hyogoya

100年以上続く味噌醤油醸造元。伝統的な手法でつくられる味噌、醤油は独自のまろやかさとコクがあるそうです。また、1階のギャラリーは、見学ができます。

問）☎096-352-0280 休）第2・4土、日祝日

札の辻（清爽園）

肥後藩の制令を掲示する大掲示台があり、高札が並べかけられていた場所。この辺りに熊本城の正面入口にあたる門がありました。

明治天皇行在所跡

明治5年天皇行幸の際の行在所跡。細川藩の貴賓館があった場所で、現在は一新幼稚園。昭和4年に碑が建てられています。

京町

市電で巡る、熊本城下町。京町（きょうまち）散策町図

モデルコース

◎所要時間 約60分

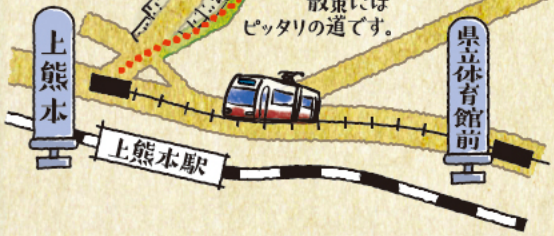
熊本城 Kumamotojo ◀ ❶愛染院 Aizenin ◀ ❷観音坂 Kannonzaka ◀ ❸熊本裁判所 Kumamotosaibansho ◀ ❹池田屋醸造 Ikedayajozo ◀ ❺草分天神 Kusawaketenjin ◀ ❻中坂・春木坂 Nakasaka・Harukizaka ◀ ❼柳川小路 Yanagawashuji ◀ ❽新坂 Shinzaka ◀ ❾漱石緑道 Sosekiryokudo ◀ 電停 上熊本

新坂から熊本を一望できる
絶好のビュースポットです。

坂の入口に立つ道標
そこに記された坂の名前や
その由来など京町の歴史を
語ってくれます。

- Ⓐ 竜通谷
- Ⓑ 観音坂
- Ⓒ 向臺寺坂
- Ⓓ 西方寺坂
- Ⓔ 中坂
- Ⓕ 雁木坂
- Ⓖ 春木坂
- Ⓗ 牛くびり坂
- Ⓘ 樋坂
- Ⓙ 新坂
- Ⓚ 瀬戸坂
- Ⓛ 釈将寺坂

旧上熊本駅舎



道沿いに残る
古い石垣が、
なんとも風流な通りです。
散策には
ピッタリの道です。

ⓘ町の案内人

町の歴史や道案内など
わからないことがあったら気軽に立ち寄って
たずねてみてください。その町の名物や
お土産なども教えてくれますよ。

京町

京町（きょうまち）

高台から市内を一望できる当時の繁華街。

京町の歴史は古く、奈良時代には
もうすでに開けていたといわれています。
加藤清正は、この町に町人を移り住まわせ、
要所要所に高級武士の屋敷や寺院を置きました。
芝居や寄席、料理屋などが建ち並び、
城下町の人々が集まる繁華街でもあったとか。
また、参勤交代の道路（豊前街道）にあたる
北方の要所であり、敵から発見されないように
道路は凹状になっています。

◆坂からの眺めも、京町散策の楽しみのひとつ。

数万年前の阿蘇外輪山の噴火によってできたといわれる京町の高台。この地形から、京町には坂が多いのが特徴です。それぞれの坂には名前がつけられ、人々の生活の歴史をかいま見ることができます。

◆明治の文豪、夏目漱石が住んだまち。

五高の英語教師として赴任していた夏目漱石は、一時期京町付近（現在の内坪井町）に住んでいたことがありました。池田駅（現在の上熊本駅）から人力車に乗って帰宅途中、坂からの眺めに心を動かされ、「森の都」と熊本を賞したと言われています。

1 愛染院（あいぜんいん） Aizenin

細川忠利が建立した真言宗の寺。忠利から預けられた愛染明王の絵があったそうです。門前には放牛地蔵の15体目があります。

どっしりと構える山門の内側には、石地蔵がズラリと並んでいます。

2 観音坂（かんのんざか） Kannonzaka

京町から坪井方面に抜けるこの坂は、昔豊後街道が抜けていたところでもあります。現在は、その名の起こりの観音さまはありません。

夏目漱石旧居（なつめそうせききゅうきょ）

「坊ちゃん」や「吾輩は猫である」で知られる夏目漱石は、五高の英語教師として明治29年から約4年間熊本で暮らしました。その間に6回転居し、ここは5番目の家。後に、熊本時代の想い出をもとに「草枕」や「二百十日」の名作が書かれています。

夏目漱石内坪井旧居
入館時間／9:30〜16:30
休館日／月曜（祝日の場合は翌日）
入場料／無料
問）☎096-325-9127

③ 熊本裁判所
Kumamotosaibansho

明治11年に古城からこの地に移り、明治41年に赤煉瓦づくりの建物が建てられました。当時は、多くの見物客が押し寄せたといいます。現在でも、本館の玄関部分は当時のまま残されています。

④ 池田屋醸造
Ikedayajozo

寛政年間創業の、老舗の醸造元。マルイケ醤油として広く親しまれています。土蔵づくりの建物が残り、玄関先の看板が目印。みそづくり教室が開かれており、手づくり味噌を食べたい！そんな方におすすめの店です。

問）☎096-352-0309 休）日祝日

⑤ 草分天神「裏京町通り」
Kusawaketenjin

現在は閑静な住宅街のこの通りは、江戸時代は旅館が軒を連ねていました。通り沿いにある草分天神は、加藤清正が熊本城築城の際、一の天守の大黒柱を切り出した時、その木の根元から現れた天神像が祀られています。

⑥ 中坂・春木坂
Nakasaka・Harukizaka

新坂ができるまでは、雁木坂と結んで、唯一本妙寺方面へ抜けられる東西の進路でした。

中坂の途中、石地蔵のある専念寺の門前から上る石段を、春木坂と呼んでいます。

雁木坂［本妙寺へ］

急な坂に横木を階段状に埋め込んだので、この名が付いています。

⑦ 柳川小路
Yanagawashuji

関ヶ原の戦いで敗れた柳川衆を、加藤清正がこの地域に住まわせたことでこの名がついています。

⑧ 新坂
Shinzaka

夏目漱石来熊100年を記念して、京陵中学校前を整備し、この名がつけられた。

⑨ 漱石緑道
Sosekiryokudo

「漱石緑道」は、「草枕」に登場するハクモクレンやツツジがとても美しい通りです。

上熊本駅

旧池田駅。明治大正時代は、熊本市の玄関口でした。旧駅舎は、今も市電の電停の上屋としてその姿をとどめ、駅前にはこの地ゆかりの夏目漱石の銅像が建っています。また、小泉八雲の「停車場にて」の舞台になったのは、この駅のことです。

自然散策

自然散策図

市電で巡る、熊本城下町。

城下町のすぐ外にあるこの地域には、
城下町防衛の要として
数多くの寺院が置かれ、
今でもそれぞれ個性あふれる
建築様式を見ることができます。
自然に恵まれ、緑豊かで、
閑静なこの辺りは、
ゆっくりと散策して巡るのに
とっても気持ちのいいスポットです。

1 北岡神社 Kitaokajinja

京都の八坂神社の分霊を祀ったことがはじまりと言われています。元は祇園宮と尊称されていました。

南側楼門前の階段に、二本の大クスがあります。この大クスは「夫婦クス」と呼ばれ、木と木の間をくぐると厄除開運、夫婦円満の御利益があると言われています。

2 長谷寺（清水寺） Hasederа(Kiyomizudera)

丸くくり抜いたような珍しい山門が特徴。この山門は、凝灰岩でできています。天台宗比叡山神護寺の末寺であると伝えられています。

3 北岡緑道 Kitaokaryokudo

北岡自然公園沿いにある散策道。モッコク、サルスベリ、ヤマツバキ、ツツジなどが植えられ、四季折々に楽しめる通りです。

寺院を歩いて巡ろう

この界隈は、寺院が点在している地域。ルートで紹介した他にも、古文化に触れられる古いお寺が数多く残っています。ひと頃までは、植木市や露店が並ぶ高麗門釈迦市が盛んだったとか。

4 北岡自然公園（妙解寺跡） Kitaokashizenkoen

細川忠利没後に寺が建立され、その後細川家の北岡別邸となっていたところ。昭和30年熊本市が譲り受けて、北岡自然公園として一般に開放されています。

旧裏門で、現在の入園口。

園内には、四季の彩りを楽しめる美しい庭園があります。

細川忠利公夫妻と、光尚公の三霊廟は、江戸初期の貴重な建造物で、風格と由緒あるたたずまいです。

【北岡自然公園】 開園時間／8:30〜17:00　休園日／12月29日〜31日
入園料／大人200円・中学生以下100円　問）☎096-356-8005

5 安国禅寺 Ankokuzenji

加藤清正の時に建立され、細川忠利の時に安国禅寺と改められています。島原の乱、戊辰戦争などの戦死者の供養塔などがあります。

6 禅定寺 Zenjoji

加藤清正の重臣並河志摩守が建立。宇土城の城門を移したといわれる山門は、老朽化のため解体されたが材木は保存されているとか。本堂の前に、江戸末期の三十三観音が並んでいます。

市内８つの
歴史的風致に関する
ポータルサイト

くまもと歴まち.com

KUMAMOTO REKIMACHI .COM

HUMAMOTOCITY_URBAN_DESIGN

＃くまもと歴まち

歴まち 360° VR
プロモーション
動画サイト

歴まち 360°

熊本市都市デザイン課

〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号
TEL.096-328-2508　FAX.096-351-2182
toshidesign@city.kumamoto.lg.jp